

第1回石狩市いじめ問題対策連絡協議会 議事録

〔日 時〕 令和元年9月26日(木) 午前10時～

〔場 所〕 市役所3階庁議室

〔出席者〕 高橋 秀明(石狩市校長会代表者) 鬼塚 健次(石狩市教頭会代表者)

久保田 豊(石狩市教頭会代表者) 龍島 秀広(学識経験者)

岩崎 雄三(石狩市人権擁護委員代表者)

百瀬 彰幹(北海道警察札幌方面北警察署生活安全課長)

大西 孝則(石狩市PTA連合会代表者)

佐々木智城(石狩市教育委員会カウンセラー)

古原 祥子(石狩市教育委員会スクールソーシャルワーカー)

上ヶ嶋浩幸(子ども相談センター長) 佐々木隆哉(生涯学習部部長)

〔事務局〕 開発 克久(教育支援センター長) 斉藤 幸古(教育支援担当主任)

〔傍聴者〕 1名

1. 開会

【岩崎会長】

おはようございます。ただいまから、令和元年度第1回石狩市いじめ問題対策連絡協議会を開会いたします。本日の会議ですが、飛田委員から欠席する旨の連絡をいただいておりますことを報告いたします。なお、委員の変更があり、校長会から花川小校長の高橋委員が、札幌北警察署から生活安全課長の百瀬委員の2名が新たに就任をされました。恐縮ですが、一言ご挨拶をいただければと思います。

【高橋委員】

4月から花川小の学校長に赴任いたしました高橋と申します。どうぞよろしく願いいたします。

【百瀬委員】

札幌北警察署生活安全課長の百瀬です。どうぞよろしく願いいたします。

2. 平成30年度のいじめの状況について

【岩崎会長】

それでは、議事に入りたいと思います。最初に、平成30年度のいじめの状況について、事務局より説明をお願いします。

(事務局)

平成30年度のいじめの状況について、ご説明申し上げます。ページは2ページをお開きください。まず、認知件数ですが、平成30年度は小学校が1,101件、中学校で106件、合計で1,117件が認知されました。平成29年度からは大幅な認知件数の増になっておりますが、これにつきましては、平成30年度からいじめの認知については、いじめアンケートで「嫌な思いをしたことがある」と答えたものをすべて認知することにしたため認知件数は大幅に増えたものであり、どんなに小さな事案であっても、児童生徒本人が嫌な思いをしたものについては認知し、いじめ解決に向けたスタートラインに立ち、組織で解決に向けた取組を行うこととしています。認知した1,117件ですが、解消しているものが1,113件、残り4件はいじめの行為は止んでいて止んでいる状態が相当の期間経過してはいるものの、継続して見守ることとしております。平成30年度のいじめの状況については以上で

す。

【岩崎会長】

ただ今、事務局から説明がありましたが、この件について各委員のご質問等を受けたいと思います。

【佐々木隆哉委員】

継続して見守るとしている4件ですが、いつの時点からになるのでしょうか。

(事務局)

学校はいじめを認知して以降、児童生徒の日常観察を行い見守っております。いじめ調査の集計の関係で今年4月からになります。

【岩崎会長】

他にございませんでしょうか。

【各委員】

なし。

【岩崎会長】

以上で、いまの説明事項については了承ということよろしいでしょうか。

【各委員】

了承。

3. 令和元年度第1回いじめアンケート調査の結果について

【岩崎会長】

続きまして令和元年度第1回いじめアンケート調査の結果について、事務局より説明をお願いします。

(事務局)

令和元年度第1回いじめアンケート調査の結果について、ご説明を申し上げます。ページは3ページをお開きください。アンケート調査にかかる児童生徒総数は4,605人、4月からアンケート実施日までに「嫌な思いをしたことがある」と答えた児童生徒数は575人、内訳は小学生が509人、中学生は66人となっております。学年別内訳数は表記載のとおりとなっております。次に、いじめの態様ですが、複数選択を可としているところ、小中ともに「悪口をいわれる」件数が多いほか、次に叩かれたり蹴られたり、仲間はずれ無視をされるという内容で推移しています。質問項目4番「今も嫌な思いをしている」、と回答した小学生は227人、中学生は34人、質問項目5番「友人が嫌な思いをしているのを見聞きしたことがある」、と回答した小学生は613人、中学生は109人、質問項目6番「いじめはどんなことがあっても許されないと思う、と答えた児童生徒数の内訳は、記載のとおりですが、小中併せていじめは許されると思っている割合は、およそ8%弱、これは昨年比で0.6%改善してはいるものの、いじめを肯定的に捉えているものと考えられます。市教委としては、校長会や教頭会においてアンケート調査内容を報告し、子どもの行動観察とともに、「いじめの芽」や「いじめの兆候」を早期の段階で把握し摘み取る取り組みや指導を要請しております。令和元年度第1回いじめアンケート調査の結果についての説明は以上となります。

【岩崎会長】

ただいま、事務局の説明がありましたが、この件についてご質問等がありましたらお願いいたします。

【岩崎会長】

いじめ撲滅集会を開催していた小学校を6月に伺ったが、校長はいじめアンケート調査の結果の数字というか実態を全児童に報告していたが、小中学校ではいじめアンケート調査結果の内容を児童生徒に知らせているのでしょうか。

【高橋委員】

プライバシーの関係もあり慎重に対応しており、悪口や体の接触など事案に応じて子どもたちに注意をしています。学校便りには具体的な数字は出さず、いじめの傾向などを伝えています。

【久保田委員】

学校便りは具体的な数字には触れていませんが、担任からいじめの傾向を踏まえ指導等に取り組んでいる旨を伝えています。なお、アンケートで嫌な思いをしているとの回答があった生徒に対して、担任は直ちに状況を聞き取るなどの対応をしています。

【龍島委員】

平成30年度から認知の方針を変更し小さな事案も拾い上げるとしたことは非常に良いことです。先生方は大変ですが、全てあげていただいたうえで対応しているということがはっきりと分かりますし、良い仕事をされていると思っています。今のいじめの定義はちょっとしたことでも、いじめとなりなり、そのことを前提に対応していることは数字のうえで現れています。ただ、アンケートでは回答していない事案が発生していることを忘れてはならないと思います。

【岩崎会長】

質問の6番「いじめはどんなことがあっても許されないと思う」との回答が小中学校で92%ある一方、8%弱の子どもがいじめは許されるとのアンケート結果ですが、スクールソーシャルワーカーやカウンセラーは学校現場からいじめの相談を受けたり、実際当事者と対応しているのでしょうか。

【古原委員】

あります。学校を訪問する中でいじめ事案について解消していたり、進行中であったり、学校と保護者との関係悪化に伴う支援要請や、直接子ども・保護者からの訴えを受けたりするなど様々な形でかかわっています。

【岩崎会長】

解消に向かうよう対応にあたっていると思いますが、対応の結果はいかがですか。

【古原委員】

ケースによりますが、タイミングよく第三者・中立の立場の者が入ることで円滑に解決することもあれば、かなりこじれてから介入しても長期にわたる場合もあります。また、解決した事案の経過観察もあつたりと様々です。

【佐々木智城委員】

いじめ解消の判断の時期が難しいと感じています。その判断時期はどの時点か、例えば学校に行きだしてからなのか、また、解消後の子どもの行動観察は重要と思います。

【岩崎会長】

他にございませんか。

【各委員】

なし。

【岩崎会長】

以上で、説明については了承ということでよろしいですか。

【各委員】

了承。

4. 令和元年度いじめ防止への取り組みについて

【岩崎会長】

次に令和元年度いじめ防止への取り組みについて、事務局より説明をお願いします。

(事務局)

令和元年度いじめ防止への取組についてご説明させていただきます。ページは4ページ、5ページとなります。まず、「市教委の主な取組」になります。(1)として「いじめ問題取組マニュアルの配布」となっておりますが、これは市教委において資料No.1を毎年作成し各学校へ配布し、活用をいただいております。(2)は啓発、相談等についてです。①の「いじめ防止強調月間」の設定及び取組につきましては、石狩市ではこれまで継続して全小中学校でやっていただいております。学校が決めた月間に、子どもたち自身がいじめについて考える取組を実施するもので、各校のこれまでの取り組みにつきましては、年度毎にホームページで公開しております。続きまして、②の「保護者向けリーフレットの配布」ですが、リーフレットにつきましては資料No.2として添付しております。これにつきましては、いじめの防止と、スマートフォンの使い方をそれぞれA3片面ずつに掲載し、児童生徒がいる全家庭への配布しております。③の「いじめ相談カードの配布」ですが、こちらについては、教育委員会内にいじめ通報ホットラインをひいておりますので、その電話番号等を記載したものを児童生徒に配布しているものです。本日は資料No.3として添付しております。続きまして、(3)の関係機関との連携になります。①として、「石狩市いじめ問題対策連絡協議会の開催」としてしております。これは、本日お集まりをいただいている本協議会の開催になり、開催につきましては年2回を予定しております。続きまして、②の「小中が連携した取組」ですが、これにつきましては、既存の小学校、中学校で実施をしている連携事業の取組の中で、いじめ防止についてもお互いの学校に触れていただいて、それを各校に戻って、どういう取組をしているのかということをフィードバックし、小中を通して、いじめ防止についての意識を高めることを目的として実施してもらうことになっております。校区ごとの実施ということになっております。続きまして、2の「学校の主な取組」についてご説明させていただきます。(1)としまして「未然防止に向けた取組等」になります。①の「児童生徒が主体となった取組の実施」ですが、これにつきましては、本年度の各校の取組につきまして、6ページと7ページに掲載してあります。それぞれの学校で特色のある取組を実施しておりますので、後ほどご覧になっていただけたらと思います。続きまして②の「授業(道徳、総合的な時間)等での取り上げ」につきましても、これまでも各校で、継続して実施してきているものになります。このほか、市内各校に配置されておりますスクールカウンセラーによる「心に関する授業」、そういったものの実施についても道教委からの通知が来ておりますので、スクールカウンセラーをお願いして実施していただきたいと考えております。続きまして③の「全校によるQ-U検査の実施」になります。これにつきましても毎年度市教委で予算を確保しており、全児童生徒への実施をしております。④の「いじめ調査」につきましては、先ほど3ページで説明をさせていただいた、道教委の調査として年2回のアンケートを実施するものです。最後に、(2)の「保護者・地域との連携等」になります。①の「外部の意見を聞く機会の実施」につきましても、各校で毎年、外部の意見を聞く機会を作っていただいております。学校支援推進員であったり、PTAの方達、そういった方々が学校を訪問された際に、学校で行っているいじめ防止に向けた取組を説明していただき、その取組について意見を伺うということを実施しております。②の「情報提供の充実」につきましても、学校便り等を通じて各校で実施しているものになりますが、内容につきましては、日頃、学校で行っているいじめ防止に向けた取組内容や、市内全校、校内に「いじめ防止等の対策組織」を設置しておりますので、そういったことをしっかりと保護者や地域へ周知することとしております。令和元年度いじめ防止への取組についての説明は以上です。

【岩崎会長】

ただ今、事務局から説明がありましたが、この件についてご質問等ありませんか。

【岩崎会長】

昨年、小中連携の取り組みとしていじめ撲滅集会が石狩中で開催されました。各学校では例年児童会生徒会によるいじめ撲滅集会を継続して取り組まれていると思いますが、花川小学校はいかがでしょうか。

【高橋委員】

いじめ防止集会を子どもたちの取り組みとして定着させることは重要であり、繰り返し行うことで子どもたちに力を付けさせるほか、取り組み内容が評価されるよう標語の表彰式を開催しています。花川中学校との交流機会を通じたいじめ防止の取組内容を児童は共有しています。

【岩崎会長】

厚田区では来年、学校の統廃合の関係でいろいろと児童生徒への対応を種々検討されていると思うのですが。

【鬼塚委員】

今年4月から望来小の子どもたちが厚田小で一緒に学ぶことになりましたが、注意を払っているのは子どもたちの心のケアです。来年はしっぶ小中の子どもたちも向かい入れる中、小中一貫校となることを踏まえ、心のケアに取り組み、また、友人関係のあり方に関する交流を図る予定です。

【岩崎会長】

他にございませんか。

【各委員】

なし。

【岩崎会長】

以上で、説明については了承ということでよろしいですか。

【各委員】

了承。

5. その他

【岩崎会長】

その他ですが、事務局で何かありますか。

(事務局)

2点ご報告させていただきます。最初に新教育プランの策定にかかる意見聴取についてです。現在の教育プランが本年度をもって終了することから、当協議会としてプランに反映させたいこと、掲載してほしいことの意見を募るものです。意見等のある委員は10月25日までに事務局にご連絡をお願いいたします。2点目は本年度2回目の開催時期についてですが、来年2月ころを予定していますことをご報告させていただきます。以上です。

【岩崎会長】

ただ今、事務局から説明がありましたが、この件についてご質問等ありませんか。

【各委員】

なし。

【岩崎会長】

その他、各委員から何かご意見はありませんか。

【龍島委員】

いじめは、子どもたちの間のトラブルで、どちらかの方が嫌な思いをしたというのは、全部いじめに

なるというのが文科の定義となっており、人間関係でトラブルあるのは当然で、あった場合どう対応するかが問題です。いじめがあれば子どもをどう育てていくかを考える良い機会と捉え、件数が多いのは悪いことではなく、子どもが活発に動いていると考えるべきです。

【岩崎会長】

その他、ありませんか。ないようですので以上をもちまして、令和元年度第1回石狩市いじめ問題対策連絡協議会を閉会いたします。お疲れさまでした。

議事録は上記のとおりであることを認めます。

令和元年 〃 月 〃 日

石狩市いじめ問題対策連絡協議会

会 長 岩崎 雄三